

1 長全寺 (ちょうぜんじ)

tel.0532-31-7993
豊橋市花田町字斉藤73-1

永禄3(1560)年の創建と伝えられています。明治7(1874)年、浄慈院から幡太学校が移され、翌8年10月境内に渥美郡最初の小学校校舎が建てられました。第2次世界大戦では山門だけが戦禍を免れました。羽田八幡社・湊(江戸時代は田町)神明社の神主羽田野敬雄と先祖の墓があります。



2 浄慈院 (じょうじいん)

tel.0532-31-8046
豊橋市花田町字百北68-1

寛文7(1667)年、吉田(豊橋)の馬見塚に創立しましたが高潮のため、延宝8(1680)年現在の場所に創建されました。創建以来寺子屋を開きましたが、明治6(1873)年10月本堂に幡太学校(花田小学校の前身)が開校されました。第2次世界大戦では戦災に遭わなかったため、山門、本堂、地藏堂、観音堂(護摩堂)などすべて江戸時代の建物です。墓地には羽田野敬雄の夫人とその一族の墓があります。



3 1・5の市 (いち・ごのいち)

昭和7(1932)年4月より羽田八幡宮の長い参道(約120m)で、毎月1と5の日に開設されています。主に農産物、青果物、雑貨などがあり、買い物客で賑わいます。



4 羽田八幡宮文庫 (はだはちまんぐうぶんこ)

嘉永元(1848)年9月、羽田八幡社・湊(田町)神明社の神主であった羽田野敬雄(1798~1882)によって羽田八幡宮文庫が創設されました。和漢の書物、約1万357巻を蔵し、閲覧室や貸し出し制度もあり、近代図書館の先駆けとなりました。文庫を火災から守るための池も一部分残っています。平成12(2000)年、国の登録文化財となりました。現在は文庫の約8000巻が豊橋市中央図書館に所蔵されています。



左が文庫、右が羽田野敬雄の旧宅

5 羽田八幡宮 (はだはちまんぐう)

tel.0532-31-7968
豊橋市花田町字斉藤54

羽田八幡宮は花田校区のシンボルの存在となっています。社伝によると白鳳元(672)年の創建と伝えられ、祭神は応神天皇であり、宇佐八幡宮の御分霊社です。豊橋「三大祭」の一つと言われる「羽田祭」は毎年10月の第1週の土・日に行われ、奉納手筒煙火などが盛大に行われています。



6 栄泉の祠 (えいせんのほこら)

江戸時代「吉田三銘水」の一つに数えられ、多くの人々の喉を潤した湧水です。戦前はこの水で身を清め、羽田八幡宮祭礼の煙火をあげたと伝えられています。羽田八幡社の北東側にあるイチビキ第3工場西の信号機の下あたりにありました。しかし、昭和15(1940)年、道路拡張のため、埋められることになりました。地元の人々の協力により、祠だけは北側町の公民館の庭内に移されました。



7 御茶屋坂 (おちややざか)

羽田八幡宮の北側の方に平安時代鮎海川(豊川)が流れており、羽田は向こう岸の小坂井あたりと行き来する船着き場がありました。この船着き場へ行く坂道を「御茶屋坂」と言われています。昔はこの坂の上から豊川が見下せたものです。



8 石仏 (いしほとけ)

大正年間、栄泉のほとりに大弘法堂が建立されました。その辺りには石仏がたくさん祀られておりました。昭和15(1940)年道路拡張のため、大弘法堂も石仏も北側町に移されました。



9 百度屋敷 (ずんどやしき)

今から約500年前につくられた古城の跡です。羽田村古城とも呼ばれ石原百度兵衛または勤柄百度右衛門という名の城主がいたと言われていました。この「百度兵衛」「百度右衛門」の名を取ってこの古城の址を「百度屋敷」といい、このあたり一帯も「百度」という地名がついていました。



10 金光寺 (きんこうじ)

tel.0532-31-7688
豊橋市西羽田町245

天文8(1539)年の創建で開山は実譽善故和尚と伝えられています。江戸時代から百度屋敷あたりに祀られていた庚申塚や石仏なども山門の左側に安置されています。昭和13(1938)年、本堂、庫裏が新築され、太平洋戦争の被害も免れました。平成16(2004)年庫裏が新築されました。



11 悟真寺 (ごしんじ)

tel.0532-52-5566
豊橋市岡谷町212

悟真寺は江戸時代、龍拈寺、神宮寺と並び「吉田三か寺」のひとつであり、東三河の浄土宗の名刹となっています。創建は貞治5(1366)年善忠和尚によって吉田(豊橋)の今橋(現在の吉田城三の丸のあたり)に建立されましたが、牧野古台が永正2(1505)年、今橋城を築城したとき、現在地に移転しました。墓地には中山美石(国学者)是心軒一翁(花道松月堂古流の祖)などの外、羽田野敬雄が創設した羽田文庫の最大の協力者であった、俳人の佐野達宇(1809~95)の墓があります。



12 湊神明社 (みなとしんめいしや)

tel.0532-54-2782
豊橋市湊町1

湊神明社の創建は7世紀の白鳳時代と伝えられています。江戸時代、山田宗備(茶人)によってつくられたと言われる「産葉の島」があり、弁財天を祀っています。また羽田野敬雄の国学の師である平田篤胤(1776~1843)が天保4(1833)年に神代文字(国学者が古代にあったと考えた文字)で書いた「カムナガラ」(神の心のままにという意味)の文字を彫った木額が拝殿左側に掲げられています。

